

2022/08/07（日）の中医推拿セミナー

- 一、推拿療法の臨床原則——整体觀念
- 二、便秘下痢の改善における推拿療法の応用
- 三、推拿療法の基本手技の復習
- 四、推拿練功の紹介——「海底撈月」

一、推拿療法の臨床原則——整体觀念

（一）整体觀念とは

1. 中医学臨床治療の基本原則の一つである。
2. 整体とは、統一性と全体性の意味である。
3. 中医学の整体觀念は

人体を一つの有機的な総合体と見なし、人体を構成する各部分は不可分離につながり、機能上では相互に協調し合い、お互いに働きかけ合い、病理上でもお互いに影響を及ぼし合い、そして同時に人体と自然環境も密接に関連があるという考え方。

（二）整体觀念の内容

1. 体内各組織器官の間の整体性
 - ①五臓の間
 - ②六腑の間
 - ③五臓と六腑の間
 - ④臟腑と体官液華の間
2. 人体と体外環境の整体性
 - ①気候環境との関連
 - ②地理環境との関連
 - ③生活習慣との関連
3. 神と形の整体性 精神情緒⇔臟腑器官組織の機能
 - ①五臓と五（七）情
 - ②七情の過度と気の損傷

（三）推拿療法の整体觀念

1. 診察の時：四診合参
2. 疾病判断の時：経絡弁証
3. 治療施術の時：患部と全身、治療と保養

二、便秘下痢症の改善における推拿療法の応用

(一) 中医学の考え

便秘或いは下痢は、大腸機能の失司の病症です。

病機：臟腑機能の失常⇒大腸機能の失司⇒便秘／下痢

(二) 中医学の弁証（診断）

1. 症因（発病の原因）

①外邪 ②情志 ③飲食 ④虚弱

2. 病位（疾病の部位）

①直接：大腸 ②間接：脾胃小腸肺肝腎

3. 病状（疾病の状態）

①主な症状：排便異常
②随伴症状：全身の異常

4. 病性（疾病の性質）

寒・熱・虚・実

【まとめ】

便秘：熱盛液虧（熱秘）	下痢：湿熱中滯
肝気鬱滯（気秘）	食滯脾胃
陰寒凝滯（冷秘）	寒湿内盛
気血虚弱（虚秘）	肝脾不和
	脾腎陽虚

(三) 推拿療法の施療

1. 治療方針（原則、治法）

便秘——祛邪補虚・整腸通便

下痢——祛邪補虚・整腸止泄

2. 処方 ①経脈 任脈 胃経 腎経 脾経 肝経

督脈 膀胱経 大腸経 三焦経

②腧穴 ■基本腧穴 天枢 大腸俞 小腸俞 八髎

足三里 上巨虚 下巨虚

■弁証配穴 [寒証] 風池 大杼 肩井 曲池 合谷

[湿証] 風門 肩井 曲池 豊隆 陰陵泉

[熱証] 風府 大椎 身柱 曲池 肩井

[虚証] 臟腑虚：膀胱経諸臟腑俞 腹部諸募穴

陽虚：気海 関元 命門

陰虚：三陰交 照海 湧泉

気血虚：気海 血海 足三里 中脘

③手技 一指禪 滾法 按揉法 按压法 推法 抹法 摩法 擦法 搓法 震法

3. 施療実施
- 〔腹部〕
 - 1 滾法
 - 2 指按压/按揉法/一指禪/振法（臍穴）
 - 3 掌按揉法/掌振法（指圧や指按法をした処）
 - 4 指推法/掌推法（三縦線）
 - 5 抹法/搓法
 - 6 摩法
 - 〔腰仙部〕
 - 1 摩法
 - 2 指按压法/按揉法/一指然（臍穴）
 - 3 振法
 - 4 推法/擦法/摩法
 - 〔四肢部〕 按揉法/一指然（臍穴）

三、推拿療法基本手技の復習（一）——点の手技

- ①一指禪法 ②揉法（指） ③点法 ④圧法/按法（指・肘先）
- ⑤叩法（指先） ⑥振法（指）

四、推拿練功の紹介——「海底撈月（かい てい ろう げつ）」

1. 基本姿勢 立ち姿勢
2. 動作
3. 呼吸法 自然呼吸
4. 意念（イメージトレーニング） 対抗力の運用